

樽前山

○ 火山活動評価：やや活発な状況

A火口およびB噴気孔群では高温状態が続いていると推定され、火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口周辺では注意が必要です。

○ 概況

・ 噴煙活動（図2）

A火口およびB噴気孔群の噴煙高度は概ね100m以下で推移し、噴煙活動は静穏な状況が続いています。

・ 地震活動（図2、図3、表1）

火山性地震は1日あたり0～9回と少ない状態で推移し、地震活動は低調な状態で経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動（図4、図5）

GPS連続観測では火山活動によると考えられる変動は観測されませんでした。

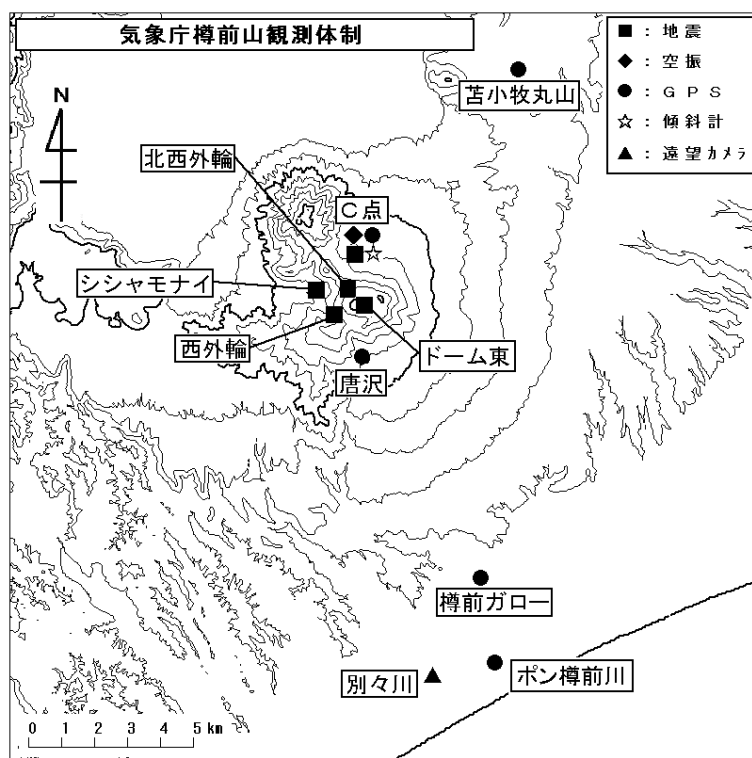


図1 樽前山 観測点配置図

※資料は気象庁のほか、北海道立地質研究所、独立行政法人産業技術総合研究所のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平17総使、第503号）。

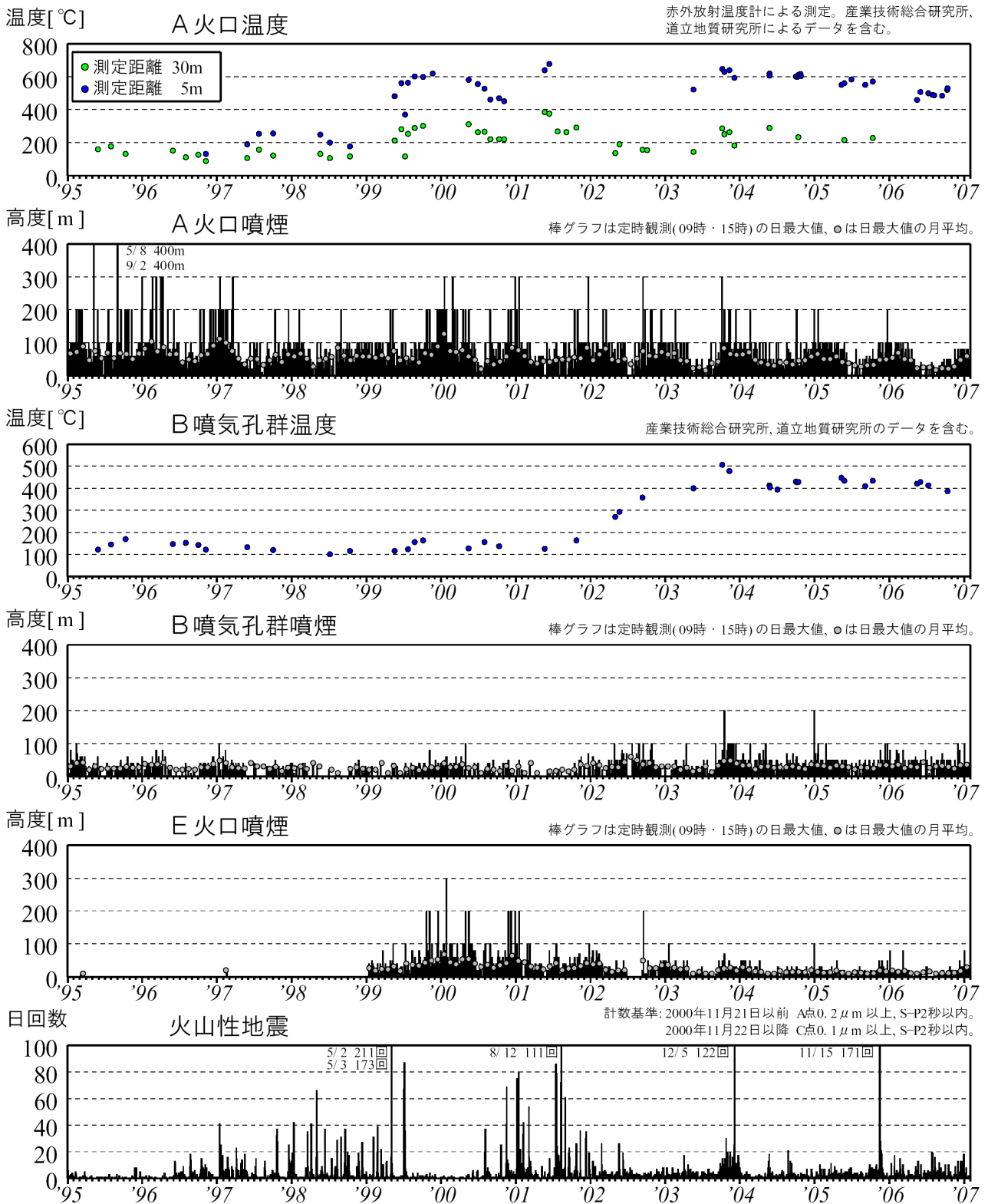


図 2※ 樽前山 最近の火山活動経過図（1995 年 1 月～2007 年 1 月）

- ・ A 火口の温度は 1999 年から、B 噴気孔群の火口温度は 2002 年以降高温の状態が続いています。
- ・ 地震回数は 1996 年以降増減を繰り返しています。2005 年 11 月に一時的に地震が増加しましたが、その後は少ない状態で経過しています。

表 1 樽前山 地震・微動の月回数 (C点: 図3のTARC)

2006~2007年	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
地震回数	77	45	32	75	61	105	95	69	49	28	123	42
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

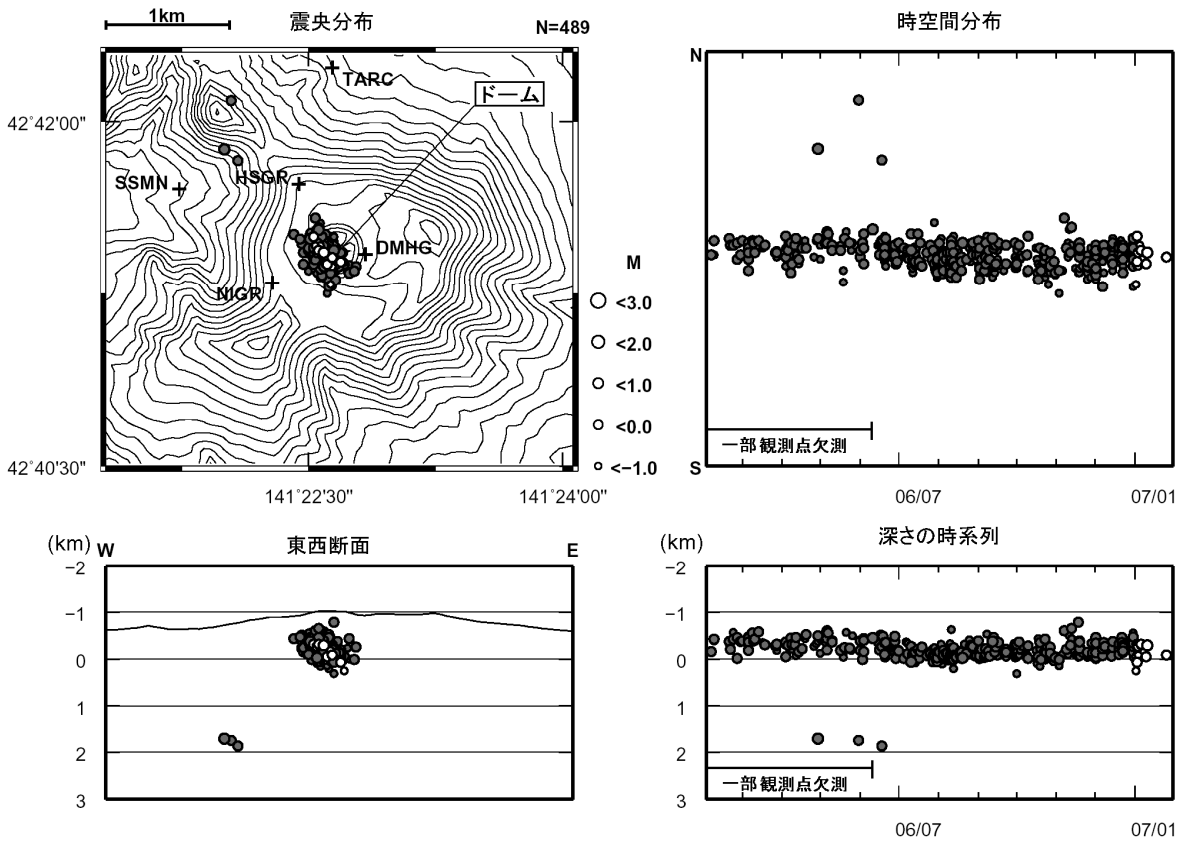


図 3 樽前山の震源分布図 (2006年2月1日~2007年1月31日、+印: 地震観測点)

○印は今期間 (2007年1月) の震源

●印は前期間までの11ヶ月間 (2006年2月~2006年12月) の震源

- ・前期間までの震源は山頂ドーム直下のごく浅い所 (山頂から深さ0.5~1km付近) に集中し、ドームの北西1.5km付近の浅い所にも分布しています。今期間に求まった震源は、山頂ドーム直下のごく浅い所に集中しています。

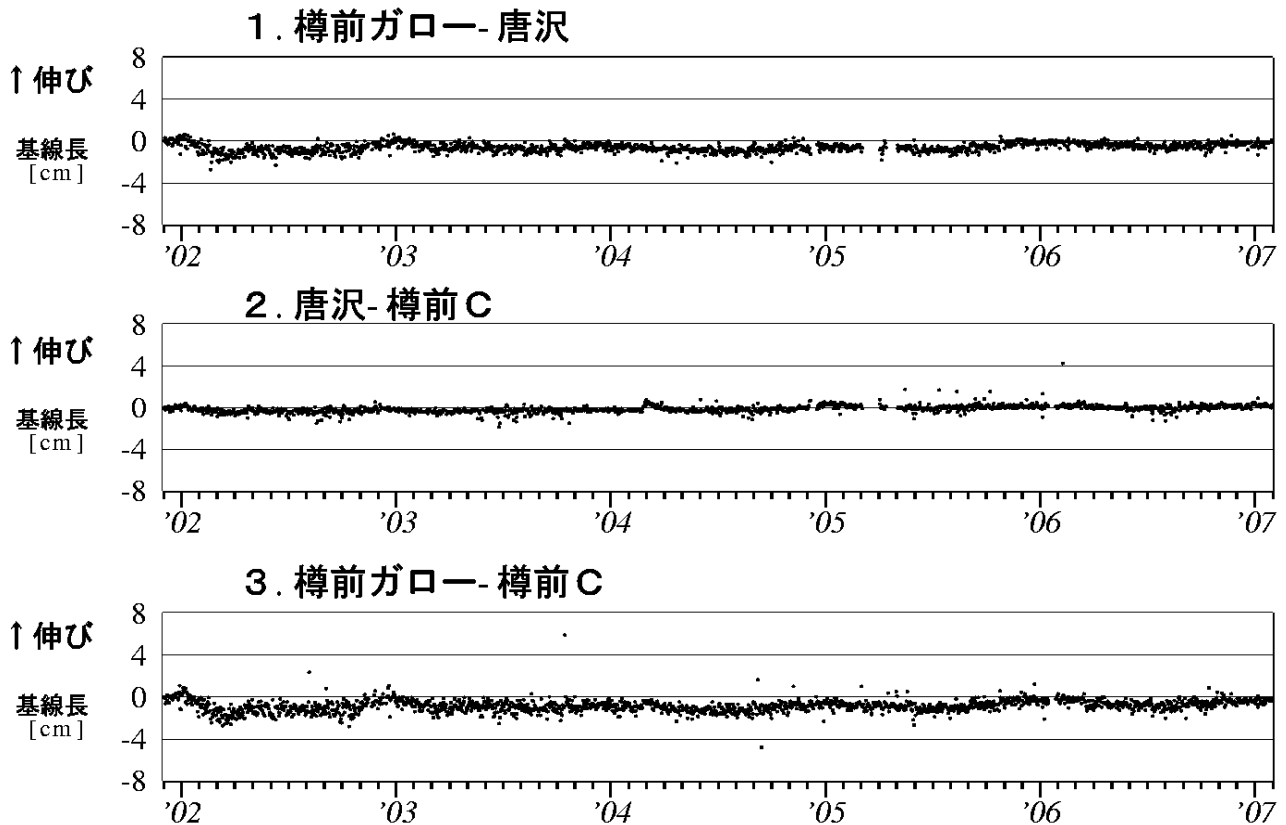


図 4 樽前山 GPS 連続観測による基線長変化 (2001 年 12 月～2007 年 1 月)
 グラフの空白部分は欠測

図 4 の 1～3 は、図 5 の GPS 基線①～③に対応しています。

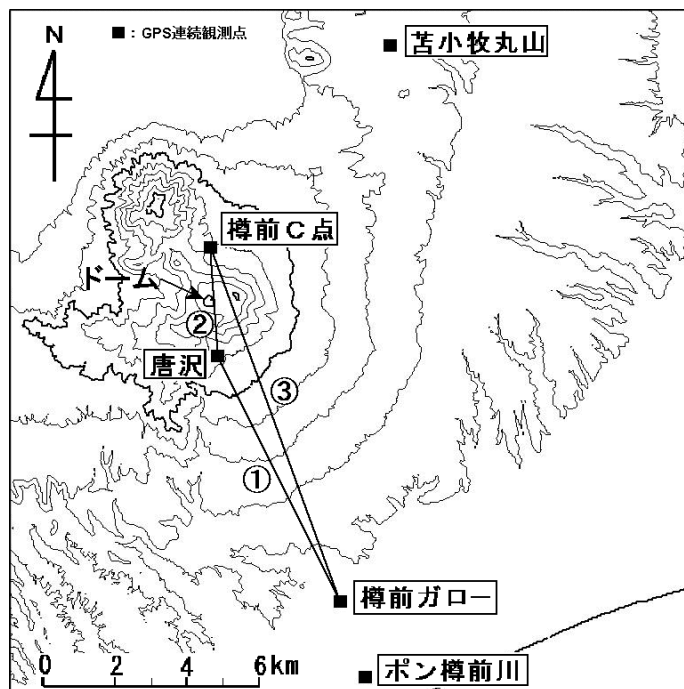


図 5 樽前山 GPS 観測点配置図